

学校と、家庭・地域を結ぶ

白布城だより 2020 春〇号外

栃木県立真岡高等学校定時制

〒321-4331栃木県真岡市白布ヶ丘24-1

電話：0285-82-3413

FAX：0285-82-2913

●はじめに

安倍晋三首相は、去る4月7日（火）に、新型コロナウイルスの感染拡大に備える改正特別措置法に基づく「緊急事態」を宣言しました。幸いにも、栃木県はその対象地域には含まれてはいませんが、東北新幹線やJR宇都宮線、真岡鐵道などを利用して、首都圏に通勤する社会人も数多くいます。ですから、自分自身が東京都などに出向かなくても、新型コロナウイルスが身近に存在する可能性はないわけではないのです。



さらに、4月9日（木）の下野新聞紙上には、「医療危機的状況宣言」（一般社団法人 栃木県医師会）が公表されました。本県のみならず、近隣都県では、病床が満杯で一般ホテルを借り上げて「臨時隔離病室」にし出しました。この、歴史的危機状態にいることを充分理解して、生活の方法を見直さなければなりません。

実際、「コロナ破綻」と言われる倒産が、本県でも出現しました（4月9日下野新聞）。ぎりぎり持ちこたえている企業も少なくないはずです。政府もできうる限りの支援策を打ち出すようですが、あらゆる業界に影響をもたらしています。

さらに、「コロナ詐欺」も、横行しだしたようです（4月9日下野新聞）。一般市民に対して、「コロナ対策助成金が出るから口座番号を！」とか「水道管にコロナウィルスがついているので除去する。」など、不安につけ込み「補助金」「検査」「訪問盗」など不正行為（詐欺行為）が横行しだしたのは、同じ人間として、残念で仕方ありません。せめて、私たちは、そのような詐欺に遭わないように注意するしかありません。

皆さま、真岡高校定時制に関わる私たち全員、知恵を併せて、この歴史的な「地球的困難」の終息を待とうではありませんか。

●保護者の皆さまへ

季節は例年より早めに移り変わり、もう、桜の花も盛りを過ぎました。皆さま、お変わりなくお過ごしのこととお喜び申し上げます。

さて、皆さま御承知のように、わが国のみならず全世界が、今、新型コロナウイルスの猛威を受けて、歴史的な状況に陥っています。先ごろは、安倍首相が7都府県に対して「緊急事態宣言」を発し、それを受けて、多くの道府県が「不要不急の外出・移動」を見合わせるように呼びかけました。

栃木県は、現時点（4/9木）では、他県に比べて多くの発症者がいるわけではありませんが、鉄道を利用して東京都や埼玉県など「宣言」の対象地に通勤されている方も多いため、いついかなる所で、爆発的な感染者発生（クラスター）が起こるかわかりません。各種の医療機関が、従来の患者治療に加えてコロナ対策に必死に取り組んでいる現状を、皆さまも御承知のことと思いますが、せめて、私たちに出来ることを確実に実行することが一番大切なのではないのでしょうか。

「うがい、手洗い、マスクの着用」、そして、人混みに出入りすることは、極力、控え、パーティなどは自粛するようお願いいたします。また、お子さまの行動にも常に注意を払い、休校での自由時間を無為に過ごさないで有効に活用することを、御家族で相談して実行されることをお勧めします。

なお、本校では、4月9日（木）から4月22日（水）まで、再び休校状態になりました。その間、登校日や補習授業などは予定しておりません。無論、集金などの活動も行いません。もし、不安なことや質問などありましたら、下記まで御連絡ください。

真岡高校 (☎)0285-82-3413

定時制教頭 植竹 暁 健康安全指導部長 鈴木久美子

※なお、本校は、本校事務局（全日制・定時制合同）で電話を受けることになります。

どうぞ、『定時制〇〇年次の△△です。』と名乗られて、定時制職員室につないでもらってください。

●生徒の皆さんへ

生徒の皆さん、こんにちは。1年次生は4月7日（火）の入学式、8日（水）の始業式と、二日間、高等学校に通学しました。また、上級生は、2月28日土曜日から臨時休校に入って4月7日（火）まで、アルバイトや自宅研修で時間を費やしていたことと思います。この間、無駄に時間を過ごしてしまった人はいませんか？体調を崩したりした生徒はいませんか？家の手伝いはしていますか？

本来なら、8日（水）の始業式がスタートラインで新学期が希望に燃えて始まるはずでしたが、中国湖北省武漢で発生したと言われてる「新型コロナウイルス」の、短期間のうちに地球上のあらゆる国に伝染し、日本にも、武漢からの観光客などがウィルスを運んできたようで

す。そして、国内でも、さまざまなルートで感染が拡大してきました。当初は、大阪市のライブハウスに行った人たちが、地元に戻り、そこで、発症（症状が出ること）し、その後、あちこちで新型コロナウイルスのクラスター（みんなが集まって形成される集団）が報告されています。

皆さんは現在、どのような毎日を過ごしていますか？初めは、学校が休みになってウキウキした気分になった人もいるかもしれません。しかし、休校が長引くにつれ、「時間をもてあまして」人はいませんか？ここは、皆さんひとり一人の勝負の時です。「今」と言う時間は二度と戻ってはきません。どうか、健康に注意し、真剣に、新型コロナウイルスに感染しない対策を実行してください。今、大きな声で叫ばれている「三つの密」をここに挙げます。

1. 密閉された部屋にはいない（密閉）。
2. 人がたくさん集まる場所には行かない（密集）。
3. 他人と必要以上の接触をしない（密接）。

8日（水）の始業式日には、全員がマスク着用で登校していましたが、自作のマスクをしてきた生徒も何人もいてステキでした。欠席者もほとんどいず、元気な笑顔が見られたのは嬉しかったのですが、私たちの背後から迫ってくるかもしれない「新型コロナウイルス」の猛威を想像すると、あまり楽しい気分にはなれませんでした。

歴史的というと、1300年代（14世紀）に、ヨーロッパで流行した「ペスト（黒死病）」という感染性の伝染病では、ヨーロッパの全人口の4分の1にあたる2500万人もの死者が発生したそうです。医療技術も今より遙かに低い水準ではありますが、当時の人たちも「生きた心地がしない」状態で毎日を過ごしていたのは、今の私たちなら容易に想像できますね。

■しなやかに、そして厳かに――令和2年度入学式挙行

4月7日（火）、本校講堂において、令和2年度入学式が全日制・定時制合同で行われました。

今年度は、全日制課程200名、定時制課程17名の入学が許可されました。

新しく栃木女子高校から赴任されました前橋 均（まえはし ひとし）校長先生と全日制PTA会長、樋口 貴則（ひぐち たかのり）様が祝辞を述べられました。前橋校長は、「皆さん一人一人が、真高の主人公です。不条理やさまざまな困難が立ちまはる現代ですが、知恵と知識を身に付けてしなやかに生きてください。」と話され、樋口会長は、「この真岡高校で、視野を広げ世界を見つめる目を養って、やがて世界で活躍できる人になってください。」と述べられました。

国歌斉唱や校歌斉唱は、CDによる演奏のみとし、静的ではあったものの厳かな入学式になりました。最後に、栃木県教育委員会から本校に赴任された定時制課程教頭の植竹 暁（う



えたけ さとる）先生による「閉会の辞」で、式は無事に終了しました。

その後、保護者の皆さんと新入生は「自習室」に移動して、新学期を迎えるにあたっての必要最小限のオリエンテーションを行い、解散しました。

■久しぶりの在校生、ピカピカの1年次生！――令和2年度一学期始業式

4月8日（水）、令和2年度の第一学期始業式が行われました。

今年度は、多くの生徒が一堂に会する全体集会をやめ、各教室で一斉放送による始業式を初めて実施しました。

前橋校長先生は、職員室の放送機材のマイクを用い、「嵐の『桜咲け』の歌詞の前向きな姿勢を表現していることを説明」され、「新型コロナウイルスが蔓延している現状を踏まえて、人の心が乱れると、『どうでもいいや』と自暴自棄になったり、『なんで私たちだけなの』と怒ったり、イライラしてぶつかり合ったり、『ココロがウイルスに感染する』ことが心配です。皆さんは、人と争わず、心を失わず、今、精一杯に花を咲かせている桜のように、元気いっぱい生きてください。一年間、一緒に頑張りましょう！」と、話されました。

その後、新しい担任の先生から新年度当初の話があり、予定よりも早い時間に下校しました。



なお、栃木県教育委員会の方針で、4月9日（木）から4月22日（水）までが臨時休校です。そして、4月23日（木）が登校日となりますが、この日は、「身体計測」や「職業適性検査」等を行う予定です。しかし、その時の状況で変更になる可能性もありますので、「Simple Mail BBS（一斉メール配信）」や各担任の先生からの連絡に従ってください。

白布の風～あとがきに代えて～

